

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 鶴ヶ島市 結果概要 中学校

## 6 教科に関する調査 中学校・理科

### (1) 全体

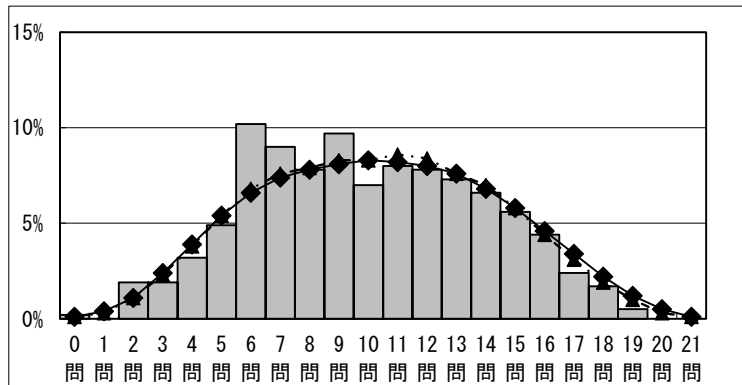
	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率(%)
鶴ヶ島市	9.9/21	47.0
埼玉県(公立)	10.3/21	49.0
全国(公立)	10.4/21	49.3

平均正答数  
出題数に対する正答数の平均値

平均正答率  
問題数を100%としたときの正答数の割合



### (2) 正答数分布 ※棒グラフが本市、-▲-が埼玉県、-◆-が全国の分布 横軸:正答数 縦軸:生徒の割合



### (3) 学習指導要領の領域等 平均正答率 (単位%)

領域等	鶴ヶ島市	埼玉県(公立)	全国(公立)
「エネルギー」を柱とする領域	39.0	41.1	41.9
「粒子」を柱とする領域	51.4	50.5	50.9
「生命」を柱とする領域	54.8	57.9	57.9
「地球」を柱とする領域	42.1	44.1	44.3

### (4) 中学校数学の状況

【総括】 中学校3年生の理科において、平均正答率は全国と比べてやや下回った。

#### ○正答率が全国に比べて高かった問題

- ・他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかをみる問題(地球)
- ・共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈する問題(生命)
- ・状態変化に関する知識及び技能を活用する問題(粒子)
- ・実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善する問題(粒子)

#### ●正答率が全国に比べて低かった問題

- ・静電気に関する知識及び技能を活用できるかをみる問題(エネルギー)
- ・動物の体のつくりと働きを分析して解釈する問題(生命)
- ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明する問題(エネルギー)
- ・測定する範囲と刻み幅の視点から、実験の計画を検討して改善する問題(エネルギー)
- ・岩石に関する知識及び技能を活用する問題(地球)
- ・未知の節足動物とアリの外部形態を比較して、分類の観点や基準を基に分析して解釈する問題(生命)